

# 研究成果発表会

- オンラインを目指して -

2025年2月6日(木)

13:00~16:00

(受付 12:30~)

場所：津山市久米公民館 ホール  
(津山市中北下1271)

講演

## ヒノキ人工林における 森林管理に関する研究について

キーワード

人工林

木材生産

林地保全



### 研究成果発表(3題)

①ドローンによる森林調査  
—単木情報の解析—



②ヒノキ本来の香りを  
残す乾燥技術の開発



③岡山県におけるマツタケ  
研究のこれまでと今後



右記QRコード(岡山県電子申請サービス)

または電話,FAX,メールよりお申込ください

※お申込の際は氏名,電話番号をお知らせください

申込期限：2025年1月30日(木)



TEL：0868-38-3153, FAX：0868-38-3152

メール：ringyo@pref.okayama.lg.jp

※詳細は裏面をご確認ください



# タイムスケジュール

13:00~ 開会

13:15 「ドローンによる森林調査 ー単木情報の解析ー」  
~13:35 (林業研究室 専門研究員 牧本卓史)

**発表1** 昨年までに、ドローン空撮画像による樹高及び立木密度の解析と、それに基づく林分材積の推定手法について取りまとめましたが、これに加えて、単木の胸高直径を簡易に推定し、人工林の資源情報を単木レベルで把握する方法について検討したので報告します。

13:35 「ヒノキ本来の香りを残す乾燥技術の開発」  
~14:00 (木材加工研究室 研究員 松田洋樹)

**発表2** ヒノキの香りの良さは材の付加価値となりうる大事な要素の一つです。しかし、乾燥方法によっては、せっかくの香りも損失・変質してしまいます。そこで、今回、乾燥と香りの関係を明らかにし、本来の香りを残す乾燥技術の開発に取り組みましたので、その概要を報告します。

14:00 「岡山県におけるマツタケ研究のこれまでと今後」  
~14:25 (林業研究室 特別研究員 藤原直哉)

**発表3** 環境整備施業から始まった本県のマツタケの研究は、その後、菌糸培養、感染苗、遺伝子解析と様々な変遷を辿ってきました。本発表では、これまでの研究を踏まえ、近年の成果、特に、アカマツデンプン培地の開発と、今後へ繋がる知見について報告します。

14:35 「ヒノキ人工林における森林管理に関する研究について」  
~15:20 (特別企画専門員 兼 林業研究室長 西山嘉寛)

**講演** これまで取り組んできたヒノキ人工林における、林分収穫予想表の作成、間伐手遅れ林分調査、伐採搬出調査、列状間伐調査等の試験研究について、その概要と研究成果をそれぞれ紹介し、今後の育林育種分野の研究について展望します。

15:25 展示している研究内容のパネルの説明・  
~16:00 普及資料の展示を行います。

※後日YouTubeにて発表、講演内容を公開します

